

2019年度

副専攻コース履修案内

【平成28・29年度入学者用】

岡 山 大 学

目 次

1	コースの種類とコース開設学部等	1
2	履修対象者	1
3	履修方法等	1
4	修得単位の取扱い	1
5	修了証書の授与	2
6	その他の留意事項	2
●	修了できなかった場合の単位の取扱い	3
●	各コースの履修方法等	4

1 コースの種類とコース開設学部等

コース名	開設学部等
英語コース 日本語教育コース	基幹教育センター
ドイツ語コース	文学部
生物科学コース	理学部
環境生態学コース	農学部

2 履修対象者

平成28・29年度入学者の副専攻コースの履修対象者は、既に履修の許可を得た者に限ります。

3 履修方法等

各副専攻コースの授業科目の履修方法及び修了要件等については、4ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

各コースの授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目又は各学部作成のシラバス・時間割等により確認してください。

なお、全学開放ではない専門教育科目を Web で履修登録する際、学生さん本人では Web 登録できない場合があります。その際は所属学部の教務担当でお尋ねください。

4 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した単位は、教養教育科目を除き、原則として所属学部の卒業要件単位に算入されません。

履修を許可された者が、副専攻コースにおいて修得した授業科目・単位の扱いは、以下のとおりです。（2年次の第3学期より前に修得した単位も含む。）

(1) 教養教育科目

教養教育科目については、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

これに含まれない授業科目は、副専攻コースの教養教育科目として取扱います。

注) 1 所属学部の卒業要件単位となっている教養教育科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。

2 全学開放の専門基礎科目は、平成28年度以降入学者は教養教育科目の知的理解科目として扱われますので、副専攻コースを構成する授業科目に該当している場合は、この科目についても、副専攻コース修了要件単位として双方にカウントします。

(2) 専門教育科目

専門教育科目については、副専攻コースの専門教育科目として取扱います。

(3) **成績証明書等への科目区分の表記について**

成績証明書等への表記は、修得単位の取扱いの(1)及び(2)の取扱いに基づいて、「その他科目」として表記します。

(4) **副専攻コースを修了できなかった場合の取扱い**

副専攻コースを修了できなかった場合の取扱いについては、次ページを参照してください。

5 修了証書の授与

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

6 その他の留意事項

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

●修了できなかった場合の単位の取扱い

学 部	単 位 の 取 扱 い
文 学 部	文学部の卒業資格単位（文学部履修細則第3条）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
教育学部	教育学部の卒業要件（教育学部規程第16条に定める別表第8及び第17条に定める別表第9）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
法学部 昼間コース	法学部の卒業資格単位（法学部規程）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
理 学 部	理学部の卒業要件（理学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。ただし、2年次第2学期終了時までには修得した科目は、卒業要件に算入する。
工 学 部	工学部の卒業要件（工学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
マッチングプログラム コース	マッチングプログラムコースの卒業要件（マッチングプログラムコース規則）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
グローバル・ディス カバリー・プログラ ム	グローバル・ディスカバリー・プログラムの卒業要件（グローバル・ディスカバリー・プログラム履修細則第3条に定める別表第1及び別表第2）に該当するものは卒業要件として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。

●各コースの履修方法等

英語コース（平成28年度入学者適用）

英語コースにおける科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要		
必修科目	教養教育科目	英語コミュニケーション1-1	0.5	6	1年次	外部検定試験による単位認定を受けた「英語コミュニケーション」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含める。		
		英語コミュニケーション1-2	0.5					
		英語コミュニケーション2-1	0.5					
		英語コミュニケーション2-2	0.5					
		英語コミュニケーション3-1	0.5					
		英語コミュニケーション3-2	0.5					
		英語コミュニケーション4-1	0.5		2年次			
		英語コミュニケーション4-2	0.5					
		英語コミュニケーション5-1	0.5					
		英語コミュニケーション5-2	0.5					
		英語コミュニケーション6-1	0.5					
		英語コミュニケーション6-2	0.5					
		スピーキングと討論	0.5または1				2～4	1年次～4年次
		リスニングとスピーキング	0.5または1				2～4	
リーディングと討論	0.5または1	2～4						
ライティングと討論	0.5または1	2～4						
小計				16				
選択科目	専門基礎科目	セミナーA	1	4	3年次～4年次	選択科目の履修時には必修科目16単位を修得していることが望ましい。		
		セミナーB	1					
		セミナーC	1					
		セミナーD	1					
		リサーチ・プロジェクトA	1	4	3年次～4年次			
		リサーチ・プロジェクトB	1					
		リサーチ・プロジェクトC	1					
		リサーチ・プロジェクトD	1					
小計				8				
合計				24				

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「英語コミュニケーション1-1～6-2」及び「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の科目名で開講される科目となります。（5ページ確認）
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の履修要件は、次のとおりです。
 - ◎「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」：TOEICスコア400点以上495点以下
 - ◎「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）
TOEICスコア600点以上
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。
- 外部検定試験による単位認定を受けた「英語コミュニケーション」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含めます。

【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1-1、英語特別演習1-2」、「英語特別演習2-1、英語特別演習2-2」の科目名で開講されます。（5ページ確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を修得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

2019年度 副専攻コース対象英語科目と講義番号
(平成28年度入学者用)

注)「プレ上級英語, プレ上級英語-1, プレ上級英語-2」は, 副専攻コースの修了要件単位として, 最大4単位までの算入となりますので, 履修登録時には, 注意してください。

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限	英語コースの授業科目名
教養教育科目	プレ上級英語	1	914503 第2・金・3&4 914505 第2・金・5&6	Speaking and discussion (スピーキングと討論)
	上級英語	0.5	914569 第1・月・7	
	上級英語-1	0.5	914576 第1・木・7	
	上級英語-2	0.5	914615 第2・月・7	
		0.5	914622 第2・木・7	
		0.5	914583 第3・月・7	
		0.5	914590 第3・火・7	
		0.5	914629 第4・月・7	
		0.5	914636 第4・火・7	
		0.5	914634 第4・木・7	
		1	914564 第1・月・3&4	
		1	914571 第1・木・3&4	
		1	914561 第1・金・7&8	
		1	914610 第2・月・3&4	
		1	914617 第2・木・3&4	
		1	914525 第2・金・5&6	
		1	914562 第3・金・7&8	
		1	914501 第2・火・3&4	Listening with speaking (リスニングとスピーキング)
	プレ上級英語	1	914592 第1・火・7	
	上級英語	0.5	914515 第2・火・5&6	Reading with discussion (リーディングと討論)
プレ上級英語-1	1	914506 第1・月・5&6		
プレ上級英語-2	1	914509 第2・月・5&6		
上級英語	0.5	914575 第1・木・7		
上級英語-1	0.5	914621 第2・木・7	Writing with discussion (ライティングと討論)	
上級英語-1	1	914519 第2・金・1&2		
上級英語-2	1	914522 第2・金・3&4		
上級英語-1	0.5	914574 第1・木・7		
上級英語-2	0.5	914620 第2・木・7		
	0.5	914582 第3・月・7	SeminarA(セミナーA)	
	0.5	914628 第4・月・7		
英語特別演習1-1	1	914651 第1・火・7&8		SeminarB(セミナーB)
英語特別演習1-2	1	914655 第2・火・7&8		
英語特別演習1-2	1	914654 第3・火・7&8		Research projectA (リサーチ・プロジェクトA)
英語特別演習1-2	1	914656 第4・火・7&8		
英語特別演習2-1	1	914659 第1・火・7&8		
英語特別演習2-1	1	914662 第2・火・7&8		Research projectB (リサーチ・プロジェクトB)
英語特別演習2-2	1	914657 第3・月・7&8		
英語特別演習2-2	1	914660 第4・月・7&8		Research projectC (リサーチ・プロジェクトC)
英語特別演習2-2	1	914658 第3・木・3&4		
英語特別演習2-2	1	914661 第4・木・3&4		

*上記授業の中には, 第1・2学期, 第3・4学期で授業内容が継続しているものと, 各学期で授業内容が完結しているものがあります。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

副専攻対象英語科目の授業概要

「スピーキングと討論」

学生は、(1)与えられたトピックについて、アイデアをまとめ、自分の意見を発表し、(2)明瞭で洗練された表現で、自分の意見を発展させ、(3)実際の対話の感覚を身につけるとともにスピーキングと討論のスキルを習得することを目指します。

Speaking and discussion

Students will: (1) organize ideas and express themselves on a given topic; (2) learn to develop their own opinions by speaking clearly and smoothly; (3) acquire speaking and discussion skills with a good sense of how social interactions take place.

「リスニングとスピーキング」

様々なリスニング教材の、多様な内容と場面での理解力向上のためのスキルの習得を目指します。たとえば、話される言葉を予測したり、キーワードを探したり、イントネーションや発音により注意を払ったりできるようになります。英会話における良い聞き手になる方法も学びます。

Listening with speaking

Students will learn various skills to improve their ability to understand different types of listening materials. These skills include actions to take before, during, and after listening: for example, predicting language, listening for key words, and increasing awareness of intonation and pronunciation. Students will also learn how to be better listening partners with others in English.

「リーディングと討論」

易しい英語で書かれたテキストをたくさん読みます。学生は、(1)様々な種類のテキストを容易く自信をもって読めること、(2)各自のレベルに応じたテキストを多読することにより、すらすらと英文が読めること、(3)読解力向上のために用いられる様々なスキルや方法を意識すること、(4)活発に討論に参加することにより、文献の理解を深めその内容を発表する力を身につけることを目指します。

Reading with discussion

Students will learn to: (1) read various kinds of English language texts with greater ease and confidence; (2) build reading fluency by extensively reading texts adapted to the level of the students; (3) gain an awareness of various skills and strategies used to improve reading comprehension; and (4) express and develop their understanding of the texts they have read by actively participating in discussions with other students and the teacher.

「ライティングと討論」

異なるジャンルのライティング能力向上を目指します。学生は、まずこれらのジャンルについて学習し、次に各ジャンルにおけるライティング・ストラテジーを学びます。学生はまた、他の学生とのディスカッションを通して、各自のライティングを修正・校訂します。

Writing with discussion

Students will improve their writing skills by writing in a variety of genre. In class students will learn about these genres and various writing strategies. They will also participate in discussions with other students and help them to revise and edit their work.

「セミナーA」と「セミナーB」

すべて英語で行われる演習です。セミナーは、日本社会の諸相、グローバル化、テクノロジー、ビジネス、環境問題など幅広いトピックを扱います。現代の日本や世界が抱える問題について、理解を深め、議論する能力を向上させるのに役立つでしょう。

Seminar A & B

Students in this course will be provided with the opportunity to select and discuss topics based on a wide range of issues including: aspects of Japanese society, globalization, technology, business, and environmental issues. This course will help students to improve their understanding of, and ability to discuss, a number of current issues related to Japan and the world.

「リサーチ・プロジェクトA」と「リサーチ・プロジェクトB」

すべて英語で行われる演習です。各学生は主専攻を基にリサーチ・トピックを選びます。グループ討論をし、主要学術文献を読み、リサーチ・ペーパーを書き、プレゼンテーションを行います。コミュニケーションのための4技能の訓練を行い、学術研究を体験し、各自の専門分野に関連する英語の専門的な語彙の習得を目指します。

Research project A & B

Each student will choose research topics based on their own major. In the class students will take part in group discussions, read key academic texts, write about their research, and make presentations all in English. Students will practice the four main skills of communication, gain experience of working in a research environment, and learn specific English vocabulary connected to their major.

英語コースQ & A

Q： 初回の授業に出席すればよいですか。

A： はい。

希望する科目の初回の曜日時限に、開講教室に出席して、担当教員へ「英語コース」を希望している旨を伝えてください。

なお、TOEICスコアシートを入手次第速やかに担当教員に提示してください。

Q： 希望していることを伝えれば、「英語コース」の履修が認められたことになるのでしょうか。

A： いいえ。

この科目には、英語コース履修を希望しない学生も含まれており、本コースを希望する学生数を把握したためにお聞きするものです。また、希望者が多い場合は履修できないことがあります。

Q： 修了試験はありますか。

A： ありません。

「英語コース」の修了要件の科目を単位修得すればコース修了となります。

Q： 副専攻「英語コース」を修了した場合、副専攻対象「プレ上級英語、プレ上級英語－1、プレ上級英語－2」・「上級英語、上級英語－1、上級英語－2」の修得単位は卒業要件の教養教育科目「プレ上級英語、プレ上級英語－1、プレ上級英語－2」・「上級英語、上級英語－1、上級英語－2」の修得単位として算入されますか。

A： 算入されるかどうかは、学部により異なりますので所属学部の学生便覧でよく確認してください。

日本語教育コース (平成29年度入学者に適用)

コース概要：						
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。						
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		
				年次	期	
※1 必修 科目	専門科目	日本語教材研究1	1	8	2年次	第3学期
		日本語教材研究2	1		2年次	第4学期
		日本語学概論1 ※2	1		3年次	第1学期
		日本語学概論2 ※2	1		3年次	第2学期
		日本語教授法概論	1		2年次	第2学期
		日本語指導法1 ※2	1		3年次	第1学期
		日本語指導法2 ※2	1		3年次	第2学期
		日本語教育演習1 ※3 ※6	1		3年次	第4学期
※1 選択 必修 科目		日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	第1学期
		異文化の中の心理と支援	1			2019年開講なし
		言語と社会	1			第1学期
		第二言語習得論	1			2019年開講なし
		日本語教育演習2 ※3 ※6	1			第4学期
		日本語研究と教材作成	1			第3学期
※4 選択 科目	教養教育科目	「日本語教育能力検定試験」の関連科目から選択	10	1～4年次	全学期	
		教養教育科目として開設する全ての外国語科目から ※5	2	1～2年次	全学期	
合計			24			

注)

- 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
 - 「日本語教材研究1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
 - 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
 - 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、次ページを参照してください。
 - 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
 - 「日本語教育演習1」及び「日本語教育演習2」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。
- ☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル (平成29年度入学者の場合)

平成29年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
平成30年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修 (日本語教材研究1,2、日本語教授法概論)	4単位取得 3単位取得
平成31年度 (2019年度)	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修 (日本語学概論1,2、日本語指導法1,2、日本語教育演習1)	4単位取得 5単位取得

2019年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選択科目	トルコの言語と文化	1	911023 1・月・5, 6
	日本の農業と農村社会	1	911125 1・月・7, 8
	※日本史を見る眼	1	911030 1・火・1, 2
	発達心理学概論	1	911057 1・火・7, 8
	教育心理学	1	911056 1・火・7, 8
	日本語史の諸問題1	1	911021 1・木・1, 2
	※実践型教育/学習概論1	1	912007 1・木・1, 2
	※異文化接触の心理学	1	911047 1・木・3, 4
	Japan in the Age of Globalization 2	1	911157 1・木・3, 4
	茶の湯にみる日本史2：作法と精神	1	911129 1・木・5, 6
	※実践型教育/学習概論1	1	912008 1・木・7, 8
	日本語史の諸問題2	1	911022 1・金・1, 2
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1	912052 第1学期集中
	対人支援職のための精神医学入門	1	911051 2・月・5, 6
	日本語学と言語表現	1	911059 2・月・5, 6
	交流による子どもの成長支援Ⅱ	1	912035 2・月・7, 8
	アニメ：ジブリアニメから学ぶ日本	1	911108 2・火・3, 4
	日本文化理解1	1	911152 2・火・3, 4
	※日本史を見る眼	1	911031 2・木・1, 2
	※アジアを知る	1	911038 2・木・1, 2
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911132 2・木・5, 6
	実践型教育/学習概論2	1	912020 2・木・7, 8
	※キャリアデザインⅠ コミュニケーション力に磨きをかける	1	912401 2・金・3, 4
	教育と国家	1	911005 2・金・3, 4
	社会心理学1	1	911049 3・月・3, 4
	人間関係論入門	1	911053 3・月・3, 4
	人間関係とセルフケア	1	911052 3・月・5, 6
	Global Sociology: Understanding Diversity	1	911160 3・火・金・1
	※アジアを知る	1	911039 3・火・1, 2
	社会学で考える	1	911046 3・火・3, 4
	異文化組織で働く	1	911128 3・火・5, 6
	日本の文化遺産	1	911136 3・火・7, 8
	留学生支援ボランティア実習【注】2参照	1	912508 3・水・5, 6
	学校と教師の役割を考える	1	911003 3・木・3, 4
	※日本語の音声	1	911013 3・木・3, 4
	文化人類学への招待	1	911045 3・木・3, 4
	※異文化接触の心理学	1	911048 3・木・3, 4
	万葉集を読む	1	911058 3・木・3, 4
	日本のポップカルチャー紹介	1	911109 3・木・3, 4
	ひとのことばの起源と進化1	1	911016 3・木・5, 6
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911137 3・木・5, 6
	Japan in the Age of Globalization 1	1	911156 3・木・5, 6
	東アジア都市史ー日本、中国、韓国	1	911138 3・木・7, 8
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	912028 3・木・7, 8
	比較・国際高等教育論Ⅰ	1	911139 3・金・5, 6
	小中学生の協同教育のための教材開発	1	912031 3・金・7, 8
	日本語の語彙と文法	1	911015 4・月・5, 6
	国際協力とプロジェクト管理	1	911140 4・月・7, 8
	交流による子どもの成長支援Ⅰ	1	912034 4・月・7, 8
	Cross-Cultural Experiences	1	911162 4・火・金・3
	※アジアを知る	1	911040 4・火・1, 2
	※日本語の音声	1	911014 4・木・3, 4
※キャリアデザインⅠ コミュニケーション力に磨きをかける	1	912402 4・木・3, 4	
授業研究入門	1	911002 4・木・5, 6	
ひとのことばの起源と進化2	1	911017 4・木・5, 6	
教養としての日本文学	1	911025 4・木・5, 6	

グローバル社会の地域研究入門（アジア・太平洋諸島）	1	911142	4・木・5, 6
東アジア都市史ー台湾、香港、ベトナム、フィリピン	1	911143	4・木・7, 8
創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	912037	4・木・7, 8
中韓ワークショップ：東アジア人材育成留学体験入門コース【注）5参照】	2	911145	夏季集中
語学研修・サマーコース 【注）2参照】	1	911147	夏季集中
スプリングスクール：東アジアにおける持続可能な発展と交流に向けて【注）5参照】	2	911146	冬季集中
語学研修・スプリングコース【注）2参照】	1	911172	春季集中
異文化理解1	1	911150	春季集中
国際インターンシップ 【注）3参照】	4	912056	特別
国際インターンシップ 【注）3参照】	3	912057	特別

必修科目	日本語学概論1	1	911091	1・金・3, 4
	日本語指導法1	1	911095	1・火・5, 6
	日本語指導法2	1	911096	2・火・5, 6
	日本語教授法概論	1	911097	2・火・5, 6
	日本語学概論2	1	911092	2・金・3, 4
	日本語教材研究1	1	911098	3・金・3, 4
	日本語教育演習1	1	911090	4・火・3, 4
	日本語教材研究2	1	911099	4・金・3, 4
選択必修科目	日本語教育とマルチメディア	1	911102	1・火・3, 4
	言語と社会	1	911100	1・火・5, 6
	日本語研究と教材作成	1	911093	3・木・5, 6
	日本語教育演習2	1	911094	4・木・5, 6

注)

- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。
- 科目によっては、受講要件がありますので、特にご留意ください。
複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」は、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「語学研修・サマーコース」「語学研修・スプリングコース」（平成29年度以降開講）も、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。
- 「国際インターンシップ」は重複履修可能な科目ですが、副専攻コースの修了要件としては1科目しか認められません。
- 対象科目は上記に掲げているものに限り、同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。
- 日本語教育コース対象科目の遡り追加科目一覧が以下にあります。平成30年度以前に該当の科目を修得していた場合、日本語教育コース対象科目として認めます。

副専攻日本語教育コース対象科目の遡り追加科目一覧

平成30年度以前に以下の科目を修得していた場合、副専攻日本語教育コース対象科目として認めます。

科目区分	授業科目	単位
選択科目	対人支援職のための精神医学入門	1
	日本文化理解1	1
	人間関係論入門	1
	人間関係とセルフケア	1
	比較・国際高等教育論Ⅰ	1
	授業研究入門	1
	中韓ワークショップ：東アジア人材育成留学体験入門コース	2
	異文化理解1	1

ドイツ語コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

ドイツ語を話し・聞く力，読む力，書く力それぞれについて特化された授業が用意されている。各受講者は、それぞれの目標にあわせて履修内容を組み立てることができる。バラエティに富む授業を履修することによって、ドイツ語運用能力の向上が可能となる。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
必修科目	教養教育 科目	ドイツ語初級Ⅰ-1（文法）	1	8	1年	○ 以下の科目は必ずセット で受講すること。 また、必ず初級Ⅰ-1→ Ⅰ-2→Ⅱ-1→Ⅱ-2 の順で履修すること。 〔ドイツ語初級Ⅰ-1（文法） ドイツ語初級Ⅰ-2（文法） ドイツ語初級Ⅰ-1（読本） ドイツ語初級Ⅰ-2（読本） ドイツ語初級Ⅱ-1（文法） ドイツ語初級Ⅱ-2（文法） ドイツ語初級Ⅱ-1（読本） ドイツ語初級Ⅱ-2（読本） ○ ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ （文法／読本）は、ドイツ 語初級Ⅰ，Ⅱ（総合）の 修得単位をもって、本 コースの修了要件単位と することも可能。 ○ ドイツ語中級は、2単位 まで、本コースの修了要件 単位に算入する。
		ドイツ語初級Ⅰ-2（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅰ-1（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅰ-2（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-1（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-2（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-1（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-2（読本）	1		1年	
選択科目	専門科目	ドイツ語コミュニケーション1 a	1	0~4	1年	〔ドイツ語初級Ⅱ-1（文法） ドイツ語初級Ⅱ-2（文法） ドイツ語初級Ⅱ-1（読本） ドイツ語初級Ⅱ-2（読本） ○ ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ （文法／読本）は、ドイツ 語初級Ⅰ，Ⅱ（総合）の 修得単位をもって、本 コースの修了要件単位と することも可能。 ○ ドイツ語中級は、2単位 まで、本コースの修了要件 単位に算入する。
		ドイツ語コミュニケーション1 b	1		1年	
		ドイツ語コミュニケーション2 a	1		1年	
		ドイツ語コミュニケーション2 b	1		1年	
	教養教育 科目	ドイツ語中級	1	8~10	2年	
	専門科目	ドイツ語読解法 a	1		2年	
		ドイツ語読解法 b	1		2年	
		時事ドイツ語 a	1		2年	
		時事ドイツ語 b	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション3 a	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション3 b	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション4 a	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション4 b	1		2年	
		ドイツ語総合演習 1 a	1		2年	
		ドイツ語総合演習 1 b	1		2年	
		ドイツ語総合演習 2 a	1		2年	
		ドイツ語総合演習 2 b	1	2年		
	4~6	ドイツ語上級 a	1	3年		
		ドイツ語上級 b	1	3年		
		ドイツ語翻訳法 a	1	3年		
ドイツ語翻訳法 b		1	3年			
ドイツ語総合演習 3 a		1	3年			
ドイツ語総合演習 3 b		1	3年			
ドイツ語総合演習 4 a		1	3年			
ドイツ語総合演習 4 b		1	3年			
合計			24			

- 注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。文学部外国語習得・留学プログラム科目一覧（ドイツ語）に沿って授業を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は、希望科目の初回の授業に出席して、授業担当教員へ「ドイツ語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については、教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については、教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。

生物科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

生命現象の基本原理と多様性について、遺伝子、タンパク質、細胞、組織、個体の各レベルから総合的に学習する。

科目区分		授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履修年次	摘 要
					年次・期	
必修科目	専門科目	分子生物学ⅠA	1	4	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照し、予め本コース開講学科（生物学科）の教務担当委員と相談すること。
		分子生物学ⅠB	1			
		植物生理学Ⅰ	1			
		植物生理学Ⅱ	1			
選択科目	専門科目	細胞生物学ⅠA	1	20		
		細胞生物学ⅠB	1			
		細胞生物学ⅡA	1			
		細胞生物学ⅡB	1			
		生化学ⅠA	1			
		生化学ⅠB	1			
		生化学ⅡA	1			
		生化学ⅡB	1			
		遺伝学ⅠA	1			
		遺伝学ⅠB	1			
		遺伝学ⅡA	1			
		遺伝学ⅡB	1			
		分子遺伝学ⅠA	1			
		分子遺伝学ⅠB	1			
		分子遺伝学ⅡA	1			
		分子遺伝学ⅡB	1			
		発生生物学ⅠA	1			
		発生生物学ⅠB	1			
		植物細胞生理学Ⅰ	1			
		植物細胞生理学Ⅱ	1			
動物行動学Ⅰ	1					
動物行動学Ⅱ	1					
生体制御学ⅠA	1					
生体制御学ⅠB	1					
神経生物学ⅠA	1					
神経生物学ⅠB	1					
合 計				24		

注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。

2 受講希望者は履修計画について理学部生物学科の教務担当委員と相談すること。

環境生態学コース（平成28年度入学者に適用）

コース概要：

地域から地球環境を対象として環境と生態系、生物群集と個体群の仕組み、人間活動から見た食料確保と供給について生態学・経済学・情報工学の視点から総合的に学習する。生物多様性と進化、地球温暖化を含む気象生態と砂漠化という地球レベルの環境問題と、食料の生産基盤と技術、生産システムと流通、資源管理と地域計画を発展的に学習する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年	期		
必修科目	専門基礎科目	農学概論1	1	4	3年次	1学期	(隔年)
		農学概論2	1		3年次	2学期	
		環境生態学コース概論1	1		2年次	3学期	
		環境生態学コース概論2	1		2年次	4学期	
選択科目	専門基礎科目	農業資源学1	1	4	3年次	1学期	
		農業資源学2	1		3年次	2学期	
		生態学概論1	1		3年次	1学期	
		生態学概論2	1		3年次	2学期	
		農業生物学1	1		3年次	1学期	
		農業生物学2	1		3年次	2学期	
	専門科目	地域環境管理学	1	22	3年次	1学期	
		生物多様性保全学	1		3年次	2学期	
		森林保全学1	1		3年次	2学期	
		森林保全学2	1		3年次	1学期	
		動物生態学1	1		3年次	1学期	
		動物生態学2	1		3年次	2学期	
		農業経営学1	1		3年次	1学期	
		農業経営学2	1		3年次	2学期	
		農業気象学	2		3年次	夏季集中	
		応用生物統計学1	1		3年次	1学期	
		応用生物統計学2	1		3年次	2学期	
		農業ロボット工学概論1	1		3年次	1学期	
		農業ロボット工学概論2	1		3年次	2学期	
		樹木生理生態学1	1		3年次	1学期	
		緑地保全学	1		2年次	3学期	
		土壌環境学	1		2年次	4学期	
		基礎昆虫学	1		3年次	3学期	
		水系保全生物学	1		3年次	4学期	
		農業経済学1	1		2年次	3学期	
		農業経済学2	1		2年次	4学期	
		資源管理学1	1		3年次	1学期	
		資源管理学2	1		3年次	2学期	
		生物生産機械学1	1		2年次	3学期	
		生物生産機械学2	1		2年次	4学期	
農環境物理学1	1	2年次	3学期				
農環境物理学2	1	2年次	4学期				
食料情報学1	1	3年次	1学期				
食料情報学2	1	3年次	2学期				
農村計画学1	1	3年次	1学期				
農村計画学2	1	3年次	2学期				
食料政策学1	1	3年次	3学期				
食料政策学2	1	3年次	4学期				
農業協同組合論1	1	3年次	1学期				
農業協同組合論2	1	3年次	2学期				
合計			30				

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

農学部学生は、このコースは履修できません。